

# JR 相模線の乗降者数の推移



2020年12月



株式会社リアルプロ・ホールディングス

JR 相模線は神奈川県茅ヶ崎市「茅ヶ崎駅」と神奈川県相模原市「橋本駅」とを結び、茅ヶ崎から相模川に沿って北へ神奈川県を縦断する路線です。全ての電車が各駅停車で一部が「橋本駅」～東京都八王子市「八王子駅」まで運行されています。また「茅ヶ崎駅」～「海老名駅」区間の運転も行われています。

相模線は相模川の砂利輸送を目的として建設された路線で、元は相模鉄道の路線でしたが1944年（昭和19年）に戦時買収私鉄に指定されて国有化されました。国有鉄道時代は国鉄の赤字路線の代表格でしたが、廃線される事無く、現在に至り、近年は通勤通学の足として定着しています。

1921年（大正10年）9月28日「茅ヶ崎駅」～「川寒川駅」間が開業。その後用地買収や工事代金未払いによる引き渡しの遅れ等の紆余曲折を経て、1931年（昭和6年）4月29日に全線開通しました。1936年（昭和11年）11月15日「八王子駅」に乗入開始。その後1944年（昭和19年）6月1日に戦時買収私鉄に指定されて国有化されました。1966年（昭和40年）3月25日、蒸気機関車の運転を廃止しました。

1987年（昭和62年）3月21日「海老名駅」開業し、現在に至ります。

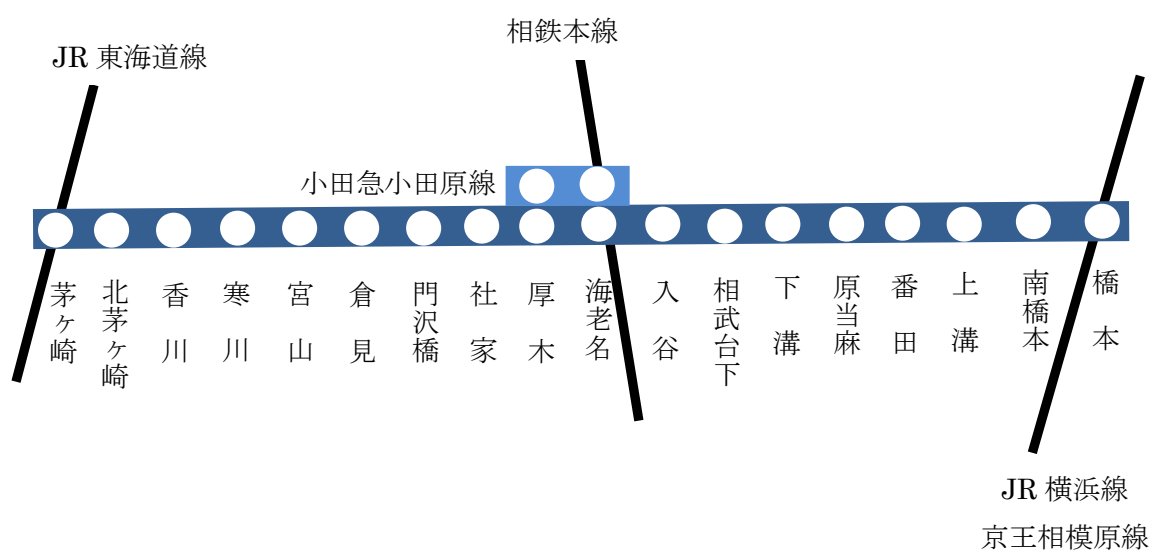
2010年度の利用者数は東日本大震災の影響により全線開通が3月28日になったにもかかわらず、全体としての利用者数は増加しています。この増加理由は橋本駅の利用者が1年で2,146人も増加したためです。その後2011年度は乗降者数が落ち込みましたが2012年度はアベノミクス効果もあり急増しています。

2015年度以降は駅の無人化等により宮山駅、倉見駅、門沢橋駅、社家駅、相武台下駅、下溝駅、番田駅が乗車人員の公表を取りやめています。

営業キロ数 33.3 km

駅数 18 駅

### 【JR 相模線の路線図】



**【JR 相模線の 1 日平均乗降者数の推移】**

駅名	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
茅ヶ崎	109,624	111,200	112,132	112,298	113,038	111,556
北茅ヶ崎	5,462	5,674	5,708	5,678	5,710	5,740
香川	9,800	10,160	10,444	10,708	10,930	11,418
寒川	13,286	13,574	13,842	13,808	13,876	13,644
宮山	4,420					
倉見	3,894					
門沢橋	3,724					
社家	4,202					
厚木	13,610	14,058	14,464	14,052	13,728	13,726
海老名	21,444	23,904	25,474	26,810	28,254	28,614
入谷						
相武台下	2,482					
下溝	2,266					
原当麻	9,164	9,454	9,648	9,900	10,328	10,352
番田	7,286					
上溝	11,434	11,764	11,998	12,364	12,572	12,682
南橋本	10,788	10,934	11,044	11,144	11,188	11,190
橋本	125,130	128,946	130,750	131,742	132,272	130,656
計	358,016	339,668	345,504	348,504	351,896	349,578

※入谷駅は 2008 年度以降無人化駅に移行した乗車人員を公表していません。

※宮山駅、倉見駅、門沢橋駅、社家駅、相武台下駅、下溝駅、番田駅は 2015 年度以降無人化駅への移行に伴い乗車人員を公表していません。

※乗降者数は乗車人員×2 で表示しています。

